

味わい深い紙コップ

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

「お飲み物はいかがでしょうか?」。客室乗務員がお伺いし、ドリンクをお召し上がりいただく機会がございましたら、ぜひ「紙コップ」にもご注目ください。基本スタイルの、白地に赤い鶴丸マークとは少し違った装いでお手元に届くことと思います。

新しいデザインは、「HERALBONY Art Prize 2024*」と国際アートアワードにおいて、JALグループの社員投票で最も人気を集めたものです。アワードを主催するヘラルボニー社は、主に知的障がいのある作家のアートデータを軸に事業展開され、JALグループも、その志や実現したい世界観、そしてアート自体の素晴らしさに強く共鳴し、このアワードを含め、さまざまな場面で一緒にさせていただいております（この取り組みについては、本誌7ページで担当社員が熱く語っています）。今回のアワードには、世界28カ国から2000近くもの実に多様なアート作品が寄せられ、それぞれ異なる魅力に、社員たちはどれに一票を投じようかと大変頭を悩ませたようです。私たちは作家の方々のストーリーに触れ、イメージを膨らませながら、機内でお客さまと一緒に楽しめることを心待ちにしてみました。

客室乗務員をしていた頃、お飲み物をお渡しする瞬間に生まれ



る、お客さまとのちょっとしたやりとりが掛け替えのないひとときでした。今回はお飲み物とともに、これから羽ばたくアーティストの世界観やストーリーも味わっていただき、お客さまの旅に彩りを添えるきっかけになることを願っております。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト／山本祐布子

*国内外での活躍を志望する障がいのある異彩アーティストを対象にしたアートコンペティション。作家のキャリアを新たな高みへと押し上げ、従来の「障害とアート」のイメージを塗り替えていく目的で創設。

とっとりみつこ／1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社（客室乗務員）。2019年に客室安全推進部部長、2020年に執行役員 客室本部長、2022年に常務執行役員 客室本部長、2023年に専務執行役員 カスタマーエクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCCOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



たびとりどり

代表取締役社長 グループCEO

鳥取三津子